

## トピックス

### 防災技術力の向上のため、気象講演会を開催しました。

梅雨の最中、静岡国道事務所と静岡河川事務所は合同で、管理する国道(国道1号、52号、139号)や河川(安倍川、大井川)の管理にあたり、特に地域の気象特性や気象庁からの発表資料等を正しく理解することが重要となるため、静岡地方気象台より講師を招き、「静岡県の気象特性や風水害に発令される防災気象情報の読み解き方」について学びました。

講演会には、両事務所の災害対応に従事する職員を始め、地域の防災関係機関の職員が参加しました。

講演会後の質問では、静岡県内での気象のメカニズムを聞く参加者もあり、参加者の技術力、意識の向上を図ることが出来ました。

【講師】 静岡地方気象台 内田水害対策気象官

【参加】 国土交通省(静岡国道、静岡河川、静岡営繕、清水港湾事務所)職員  
静岡県、静岡市  
約50名



【講師】 静岡地方気象台 内田水害対策気象官



質問をする参加者